

回収・再生・再利用の環を完成させるためのツールということで誌名を「RING」としました。これはリサイクルが始まっていることを意味する「R・ING」からイメージしたタイトルです。

44

2026年6月
発行

特集

未来を担う子どもたちへ！ PETボトルリサイクルの 環境教育、最新事例の紹介



PETボトルをテーマとして学ぶ 環境教育の需要が高まっています。

PETボトルリサイクル推進協議会では、従来から教育現場で活用できるさまざまなツールを提供してきましたが、25年度は、新たにデジタル教科書ポータル「EduHub」に参加し、新たな教材開発の提供も開始しました。

今号では、当協議会の取り組みと教育現場からのお声をお届けします。



Contents



PETボトルリサイクルの
メールニュースを
配信しています

当協議会ホームページにて
登録ができます。

■ 資源循環型社会形成を目指して 福島県 郡山市 ～市町村紹介～ 兵庫県 宝塚市	6 7
■ 再商品化事業者紹介 株式会社サーキュラーペット	8
■ PETボトル再商品化施設一覧 2026年度の登録リサイクル施設 新認定再商品化製品のご紹介	9
■ 再生樹脂利用事業者紹介 ブルドックソース株式会社	10
■ 会員企業訪問 小林容器株式会社	11
■ 環境配慮設計認定制度／編集後記	12